



フレックス通信 2月号



代表 浅原挨拶

2024年もあっという間に1カ月が過ぎました。子どもたちも日々成長し、とても嬉しく思います。重症化することは少なくなったようですが、まだまだコロナやインフルエンザなどの感染症が流行しています。引き続き感染症対策に取り組みながら過ごしていきたいと思ひます。

ちょうど昨年今頃、小学校で、支援学級の子供たちのことを交流学級の子供たちに伝える機会をいただきました。対象は小学1年生で、まだまだ幼さが残る可愛いくて、思ったことを素直に口に出してくれる子供たちでした。日頃から「どうして自分たちは頑張っているのに頑張らないの?」「なんで、すぐ怒って叩いてくるの?」「遊んでいるときに、自分が負けたら、なんで急に怒り出すの?」など、いろいろなことが不思議で、先生に質問をしていたそうです。子供たちがいろいろなことを尋ねてくれることはとてもいいことで、支援学級の子供たちのことを理解してもらおうチャンスです。1年生にどうやって伝えようかと考えた結果、客観的に受け取れるものにしよう。内容は、なんとなく似た感じの友達が近くにいて「そうそう!こんなことある!」と思えるようなものにしよう決めました。そして、前もって先生に支援学級の子供たちのことをお聞きして作ったアニメーションをみながら、お話をさせていただきました。最初に「みんな誰だって失敗はする」という内容、次にいろいろな人の苦手なことやどうしてそんなことをしてしまうのかについて、「自分の思っていることがうまく伝えられないとイライラしてしまうことがあるかもしれない」「負けることが大嫌いで、負けてもだいじょうぶと思うことが難しい人がいる」「負けてもだいじょうぶって思えたらいいのにね」「人が嫌な気持ちになることを自分で止められない人がいる」「頑張りたくても頑張れない人がいる」「少しずつ、少しずつ頑張れるように応援したいね」などのアニメーションを観てもらいました。最後に「人はみんな、一人ひとり違う」「違っているから、もっとその人のことを知りたくなる」「みなさんに、まわりの人の良いところや好きところを探す名人になってほしい」そして「自分の好きな気持ち、ありがとうの気持ち、感謝の気持ちを恥ずかしながらいろいろな人に伝えてほしい」とアニメーションで伝えました。大人に教え込まれるのではなく、自分で感じたことを大切にしてもらいたいという思いでアニメーションを使いました。子供たちにどんな風に伝わったか、ほんとうのところはわかりませんが、子供たち一人ひとりの顔を見ていると、こんなことを続けていくことが私たちの役目だと強く感じました。あれから1年、子供たちに継続したお話ができていない現状があります。これからこのような機会を作っていけるよういろいろな所で理解・啓発活動を進めていきたいと思ひます。



フレックスの様子



お正月あそび

前回のフレックス通信に掲載しきれなかった冬休みの様子です。福笑い、すごろく(人生ゲーム)を楽しみました。



節分あそび

紙コップ、風船を使ってクラッカーを作り鬼のめがけて球をとばしました。クラッカーのいい音とともに、玉が飛び出し盛り上がりました。



「せんせい、みて～」と子供たちに呼ばれ見てみると、指で星を作っていました☆



おりがみ

おりがみもみんなが好きな遊びの一つです。時計を折って身に付けたり、おすもうさんを折ってトントンずもうをして楽しみました。

コッコロ土曜デイより



カードを使って生地を切りました。

あんこをいれたよ!

3月の土曜デイは2日と16日です。

お知らせ

- ・3月13日(水)に、保護者会をします。
場所：播磨町福祉会館 1階
時間： 10:30 ~ 11:30
- ・3月4日(月)より「春休みの希望調査」の用紙を配布する予定です。締め切りは3月15日(金)を予定しています。

